

報道関係各位

令和2年10月16日

浅草神社×宮本卯之助商店

「組み上げ神輿守（みこしまもり）」頒布開始

氏神様に氏子の町々の様子をご覧頂き、そのご神徳を授かる事が祭礼と神輿の本義であると考え、私達の自身の手で神輿を組み上げ、本物のお神輿と同じように浅草神社にて紙守（かみまもり）をお受けして完成させる「組み上げ神輿守」を制作いたしました。



～三社祭とお神輿～

浅草神社の氏子四十四ヶ町を中心に五月に三日間に亘り執り行われる三社祭。なかでも三基の宮神輿をはじめ百基近い神輿による渡御は勇壮です。

神輿は神幸祭に際してご神体あるいは御霊代がお乗りになる輿の事をいいます。氏子達が担いで練り歩く神幸の途中、神輿を上下左右に振り動かしたり、荒々しく揺さぶることで神輿に坐す神様の「魂振り(たまふり)」を行い、神様の霊威を高め、豊作や豊漁、商売繁盛、疫病の退散がなると信仰されています。

浅草神社には3基のお神輿があり、祭礼の際は一之宮には土師真中知命、二之宮には檜前浜成命、三之宮には檜前武成命の御神霊をそれぞれお移しし、町中を渡御します。

～令和二年 浅草神社例大祭「三社祭」について～

今般のコロナ禍に伴い、5月に斎行予定であった御祭礼を、18日のご縁日に因んで令和2年10月17日(土)・18日(日)の2日間に亘りに延期斎行する事と致しました。また、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の観点より、1、宮神輿・町神輿を含め担ぎ手による担いで神輿の渡御は中止。2、氏神様である三柱の御神霊(おみたま)の氏子四十四ヶ町移御を実施となります。

お神輿を担がないから三社祭は中止ということはありません。浅草神社例大祭「三社祭」は1年に1度の「本祭り」として必ず斎行される御祭礼であり、社殿で執り行われる「例大祭式典」が第一の神事であると共に、氏神様に氏子の町々の様子をご覧頂き、そのご神徳を授かる事が本義となります。

「組み上げ神輿守」は祭礼と神輿のこの本来の意味に親しんで頂く為に江戸時代以降の流行りの遊びの一つとして広まった「切組灯籠」、「組上げ絵」等と呼ばれた玩具絵の伝統を元に制作致しました。

ハサミで絵を切り抜き、ノリで貼って組み立てましたら、本物のお神輿と同じように浅草神社にて紙守(かみまもり)をお受けして神輿守を完成させて下さい。

<組み上げ神輿守(くみあげみこしまもり)概要>

【内容物】組み上げ神輿守 3枚

概要書 1枚

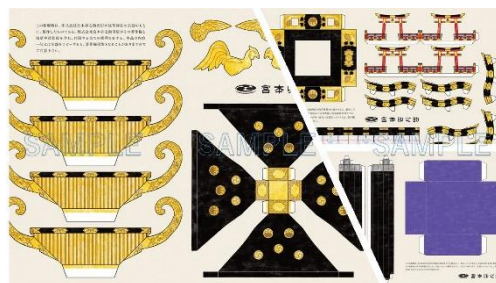
【完成品概要】

台輪寸法：2寸5分(約75mm)

本体高さ：約170mm(鳳凰含)

最大幅：約140mm

総高さ：約203mm(台座含む)



【使用方法】

- ・ハサミやカッターナイフで紙を切り抜き、ノリで貼って組み上げます。
- ・紙守(かみまもり)は浅草神社にて別途、授与いただき完成させてください。
- ・神輿職人が説明する作り方

<https://www.miyamoto-unosuke.co.jp/company/blog/2227/>

【価格】500円(税込)

【製造元】株式会社宮本卯之助商店 東京都台東区浅草 6-1-15



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 宮本卯之助商店 営業 深澤

お問い合わせフリーダイヤル:0120-354041 Email:uno@miyamoto-unosuke.co.jp